

20直土収第215号の2
平成20年10月14日

国土交通省道路局長 殿

直島町長 濱田孝夫



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記の件について、別紙のとおり意見・要望等を提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1 生活幹線道路ネットワークの形成

直島町では、ベネッセコーポレーション等が進めているアート関連施設の整備に伴い、近年観光客の来島者数が飛躍的に増加している。

島内の主要な道路は、県道北風戸積浦線が島をほぼ1周しているものの、幅員の狭い所が多くあり、大型観光バスの通行ができなかったり、休日等の車両が多い時は通行に支障を来たしていたりするのが現状である。また、町内に大企業があり大型車両の通行も多い。

そのため、道路の拡幅整備やバイパスの整備等により、これらの問題を解消して、住民と観光客が共存して安全に生活できるような道路整備を望みたい。

2 通学路の歩道整備

直島町では、小・中学生の通学路に歩道が整備されていない所が多く、三菱マテリアル等の物資を運搬している大型貨物車が走る同じ道路を子ども達が通学している。

迂回路も少なく別の道路を通学路にするのも困難であるため、子ども達の安全確保のため、通学路にはぜひ歩道の整備を望みたい。

○ 現状

直島町では、本島の南北を縦横断している延長約14.0kmの県道と集落・公共施設等を結ぶ延長約36.8kmの町道により、道路交通網を形成している。

県道は、毎年の年次計画で拡幅改良・舗装整備を行っておりますが、未改良箇所もいくつか残されているのが実情である。

町道については、古くから住宅密集地域があり、用地買収等が困難な箇所や自動車交通量も限られていたことなどを背景に道路整備を行ってきた経緯から、車道幅員3.5m未満の延長は約24kmと全体の約65%を占めているうえ、うち自動車交通不能の延長は約12kmで全体の約33%を占めており、その整備は遅れている。

以上のことから、自動車交通量の増加などを加味して計画的な道路改良を行う必要がある。特にリゾート施設、公共施設、企業施設には、通勤・通学等で多くの方が利用するため、早急な整備が求められている。

○ 課題

用地買収等が困難。

道路幅員の関係上、歩道の設置が難しい。

大型貨物車が走る道路と通学路が同じである。

財政事情等で道路整備が進まない。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－２ 地域の目指すべき将来像

香川県直島町

風光明媚な自然環境を生かしたまち並みに調和する道路整備を図り、住民が安全でゆとりある生活が営めるまちづくりをめざしていく。